令和４年度　学校自己評価システムシート　（ さいたま市立 城北 中学校 ）　　学校番号　２５３　　【様式】

目指す学校像	①生徒、教職員、保護者、地域が誇りを持ち、全ての活動に一生懸命取り組む学校②自他共に尊重し、互いに支え合う学校③生徒の活動が活気に溢れ、規律のある学校④学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校⑤安全かつ安心して学び生活できる学校

重点目標	１　生徒一人ひとりの実態を理解し、工夫を生かした「考える力」を育む学習指導の実践 ２　安心・安全な学校に向けた教育支援・相談体制と生徒が主体となる活動の充実 ３　保護者・地域との連携を密にし、適時・適切な情報発信と迅速・誠実な対応の実施 ４　教職員研修の充実

※重点目標は４つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度			
	A	ほぼ達成	（８割以上）
	B	概ね達成	（６割以上）
	C	変化の兆し	（４割以上）
	D	不十分	（４割未満）

学校自己評価								学校運営協議会による評価
年度目標					年度評価			実施日令和　年　月　日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【現状】 ○全国学力・学習状況調査結果において、国語、数学ともに、基礎的・基本的な知識を問う問題に関しては正答率が高い。 ○全国学力・学習状況調査結果において、ICT の使用に関して、「授業中に、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用する機会」が、ほぼ毎日と答えた生徒の割合が５０%を超え、全国や市の平均を大きく上回った。 ○日頃の様子から、自分で課題を立て情報を集め整理し、発表するなどの学習に、積極的に取り組む生徒が多く見られる。 【課題】 ●全国学力・学習状況調査結果の分析結果から、特に国語の記述式の問題に対する無回答率が高い。また、数学においても、自分の考えを書いたり、事象を説明したりする問題を苦手とする生徒が多くいる傾向が見られる。 ●全国学力・学習状況調査結果において、学校の授業以外に、家庭等で勉強をする時間は、全国の結果を下回った。	指導方法の工夫改善 ・「考える力」を育む探究的な学びの実践 ・個別最適化に向けた学習ソフトの活用	①全ての教科において、基礎・基本の徹底と、習得した知識・技能を活用し課題を解決させる場を設定し、探究的な学びの実現を目指した授業改善を行う。 ②５教科において、スタディサプリ、ドリルパークなどの学習への取組目標及び計画を立てさせ、自律した学習者となるよう支援する。	①習得した知識・技能を活用し課題を解決させる場において、探究的な学びの実践が行われたか。 ②生徒が、学習カード等をもとに学習の振り返りを行い、自ら調整しながら学習を進めている様子がみられるか。				
		教科横断的な学びや SDGs の視点からの授業実践 ・３年間を見通した城北中 STEAMS TIME の実践 ・	①各教科において、他教科との関り等により、より深い学びが導かれる単元がないか検討し、年間指導計画に位置付ける。 ②城北中 STEAMS TIME において、３年間を見通した探究的な学びを実践する。	①学校自己評価の教員質問紙調査において、「探究的な学びの実践」について、肯定的な回答をする教員の割合が８０%以上となったか。 ②生徒への質問紙調査において、「探究的な学習に対する関心」について肯定的な回答をする生徒の割合が８０%以上となったか。				
2	【現状】 ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目で、肯定的な回答をした生徒の割合が９０%を超え、全国や市の平均を上回った。 ○昨年度、プールや、校舎の雨漏り等、施設・設備の不具合に関して、大規模な修繕が行われた。 【課題】 ●コロナ禍における学校行事の中止や、それに伴う閉塞感等による生徒の心身に与える影響が多きことから、生徒１人ひとりの実態を把握し、必要な支援を行う体制の教化が必務である。 ●施設設備の安全点検の確実な執行。	コロナ禍における学校行事の工夫・実施 ・実施形態、参加方法の工夫 ・教育支援体制の充実	①実施形態や生徒や保護者の参加方法を工夫することにより、計画していた学校行事を全て実施する。 ②その際に、生徒の自治的な活動が行われるよう、支援する。 ③教育相談部会に於いてあげられた件について、各種機関と連携を図る。	①計画された学校行事が実施形態の工夫により実施されたか。 ②生徒への質問紙調査において、「学校生活」について肯定的な回答をする生徒の割合が８０%以上となったか。				
		安全で豊かな教育環境の整備 ・施設設備の定期的な安全点検と確実な保守管理	①安全点検の確実な実施と、必要な個所への素早い修繕を行う。 ②教室や学校内の共有スペースの掲示を工夫したり、清掃活動の推進により、教育環境の向上を図る。	①毎月、安全点検が確実に実施され、修繕等により、安全な環境が維持されたか。 ②学校運営協議会における評価で、教育環境に関して肯定的な回答が８０%以上となったか。				
3	【現状】 ○昨年度、学校運営協議会準備会を立ち上げ、目指す学校や生徒の姿について熟議を重ね、「考える力」の育成を、学校教育の柱とすることを共有した。 【課題】 ●昨年度は、コロナ禍もあり、保護者や地域の方々に学校の教育活動を見て頂く機会があまり持てなかった。今年度は、学校の様子を発信したり、地域と生徒が関わる機会を増やしたりできるようにする。	教育活動の発信 ・学校 HP 等の活用 ・情報発信における ICT 機器の活用	①学校だよりや学校 HP で、生徒や学校の教育活動の様子がわかるように、保護者や地域に情報を発信していく。 ②学校運営委員会で、録画した学校行事等を見て頂き、理解を深めて頂く。	①保護者への質問紙調査において、「学校の情報発信」について肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ②学校運営協議会における評価で、「目指す生徒の姿を共有できた」と回答する割合が８０%以上となったか。				
		地域との関りを大切にした探究的な教育活動 ・城北中 STEAMS TIME 、 SDGs 教育の実施	①城北中 STEAMS TIME では、 １年：自分や学校を知る、発信する ２年：地域を知る、発信する ３年：地域や社会と協働する（来年度から） を目標に、探究的な教育実践を行う。	①２年生の城北中 STEMS TIME において、地域との関りを意識した活動が行えたか。				
4	【現状】 ○エヴァンジェリストが中心となり、ICT 機器を活用した授業実践が積極的に行われている。 ○各教科や領域において、熱心に教材研究に取り組んでいる。 【課題】 ●新学習指導要領実施にあたり、探究的な学びや評価に関する更なる研修が必要である。 ●個に応じた指導の充実のため、必要な支援の仕方がわかるとよい。	時宜にかなった学校全体研修の実施 ・探究的な学びや評価・評定に関する研修 ・特別支援教育に関する研修	①講師を招聘した研修の実施により、教科についてより深く理解し、指導方法の工夫改善につなげる。 ②特別支援教育に教育相談に関する全体研修を行い、教職員全体の理解を深める。 ③個人の研修に係る費用の一部を、補助する。	①全ての教員が「考える力」の育成を目指し、探究的な学びの実践を行ったか。 ②全ての教員が。自ら目標に掲げた授業改善に取り組み、７０%以上の教員が目標達成を実感することができたか。 ③特別支援教育や教育相談に関する全体研修を行い、理解が深められたか。				